

いっぱん質問

行政の考えを聞く



浦田 吉彦 議員

閉校後の5小学校どう活用するのか

9P

廣方 悟 議員

市政運営の基本姿勢と施政方針について

9P

田中 義幸 議員

赤間市長の施政方針について質疑

10P

新井 聖次 議員

「無限の可能性を大切に育む」ための教育問題について

10P

田上 孝樹 議員

携帯電話通話エリアの現状と課題・改善について

11P

岩永 利勝 議員

防災対策について

11P

中村 春夫 議員

市内の産廃行政について

12P

宮原 由光 議員

サルビアパークの温水プールについて

12P

山本 幹雄 議員

平成24年度福岡県内28市普通会計決算状況から

13P

藤 伸一 議員

介護保険事業について

13P

森 裕治 議員

政治姿勢について

14P

田淵 千恵子 議員

市長の施政方針について

14P

山倉 敏明 議員

施政方針と教育行政について

15P

豊 一馬 議員

行財政改革について

15P

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

廣方 悟 議員

市政運営の基本姿勢と施政方針について



廣方議員

問. 自治の主人公は市民であり、行政運営をいかに進めるのか

答. 限られた資源、財源、個々の人の視点を大切に行政運営に取り組む

質 市政運営の基本姿勢について
憲法13条では、すべての国民は個人として尊重され、個人の幸福追求は最大限に尊重しなくてはならない。15条では、公務員は全体の奉仕者であつて一部の奉仕者であつてはならないとされている。そこで市長が言う公正公平の本質は、

質 市長の選挙公約3本の柱による魅力ある施政方針について
赤間市長 公務員は、社会全体を公平に見渡して職務にあたらなければならぬ。市長は、市民の期待に応え、市政の発展に貢献する責任を負う。また、市民の声を聞き、市政の改善に取り組む。そして、市民の生活の質を向上させることに努める。市長は、市民の期待に応え、市政の発展に貢献する責任を負う。また、市民の声を聞き、市政の改善に取り組む。そして、市民の生活の質を向上させることに努める。

質 市長の選挙公約3本の柱による魅力ある施政方針について
赤間市長 公務員は、社会全体を公平に見渡して職務にあたらなければならぬ。市長は、市民の期待に応え、市政の発展に貢献する責任を負う。また、市民の声を聞き、市政の改善に取り組む。そして、市民の生活の質を向上させることに努める。市長は、市民の期待に応え、市政の発展に貢献する責任を負う。また、市民の声を聞き、市政の改善に取り組む。そして、市民の生活の質を向上させることに努める。

質 市長の選挙公約3本の柱による魅力ある施政方針について
赤間市長 公務員は、社会全体を公平に見渡して職務にあたらなければならぬ。市長は、市民の期待に応え、市政の発展に貢献する責任を負う。また、市民の声を聞き、市政の改善に取り組む。そして、市民の生活の質を向上させることに努める。市長は、市民の期待に応え、市政の発展に貢献する責任を負う。また、市民の声を聞き、市政の改善に取り組む。そして、市民の生活の質を向上させることに努める。



にし、行政運営に取り組む。
※ この他情報基盤整備、企業誘致、観光振興について質問しました。

浦田 吉彦 議員

閉校後の5小学校どう活用するのか



浦田議員

問. 跡地利活用委員会を早急に開催せよ

答. 来月に早急に実施していきたい

質 嘉穂小の通学対策で地域から色々要望が出ているがどうか。
松岡学校教育課長 指摘の通り、柳ヶ谷方面から徒歩通学してくる子どもは非常に時間がかかっている。スクールバスも乗降場所が居住区からかなり離れており、心配する声が出ている。今月末に通学安心安全協議会を設置し調査検討する。

質 統合前に各地区で行っていたときめき学習等について今後どうするの。
坂本生涯学習課長 ときめき学習は、夏休み期間中、地域の世代間交流でもあり、今年も実施し、次年度以降によりよい方向で事業を推進する。

質 閉校後の跡地利用について①宮野小の地域資源活用プロジェクト事業のスケジュール②他の小学校の跡地利活用委員会はいつ開くのか③地域によっては体育館で敬老会やいろいろな行事を行っているが、演台やマイク施設などが使えず支障を来たす現状がある。しかも、避難施設でもあり、それにふさわしい施設にすべきかどうか。
学校教育課長 1点目の宮野小はプロジェクトのため補正予算を計上しているが、地域交流専門員等の選任も含め、来月中に設立総会を開催し、具体的に進めたい。2点目は、各小学校に跡地利活用委員がおられ

るので、その委員を招集し、今後議論したい。3点目については、地域の声を十分に反映せず、学校備品を移動し、事前の説明も不十分であった。特に千手地区の市民にご迷惑をかけた。今後、そのようなことにならないようにしたい。
栗野教育長 跡地利活用については、跡地利活用準備委員会があつたので、関係する所管課を集めて、早急に立ち上げた。出来たら早急に来月



地域資源活用プロジェクト事業が実施される宮野小学校

にも実施したい。

岩永 利勝 議員

防災対策について

問. 鴨生・平東地区豪雨災害対策の進捗状況について

答. すべての工事完了は平成30年度を予定している



岩永議員

質 鴨生地区豪雨災害対策工事の進捗状況は。山倉土木課長 調整池に溜まった雨水を排水するため、なつきプールから枝坂バス停までの間にボックスカルバート設置の工事を行う予定である。現在、付近の家屋調査を実施しており、12月完成を目指している。また、鴨生ローソン交差点付近の井堰拡張工事を稲刈り後に、さらに、平野小児科付近の冠水対策として水路拡張

質 工事を今年度中に発注する計画である。産業振興行政について **質** 飯塚市庄内から鴨生東町に流出する雨水対策のための調整池建設の進捗状況は。土木課長 飯塚市との協議で、貯水量1万6千トンの調整池建設を10月に着工、3月には工事を完成する計画となっている。

質 平東地区の地下湧水による路盤工事の進捗状況は。土木課長 測量は完了し、湧水の処理工法等を検討して設計に入り、10月に工事発注を計画している。

質 山間部から流出する土石流対策について、その後の県との協議は。大津農林整備課長 申請箇所3箇所のうち東側2箇所は崩壊が確認されていない。西側の崩壊箇所については治山堰堤の測量設計を完了しており、9月に工事発注、10月に着工する予定



水害対策が急がれる鴨生地区

没箇所を再度調査するよう質問しました。

田上 孝樹 議員

携帯電話通話エリアの現状と課題・改善について

問. 携帯電話等エリア整備事業の活用について

答. 情報基盤整備の進捗状況も勘案しながらよく検討していく



田上議員

質 嘉穂地区千手長野地域の住民から携帯電話がつかなくなるよう改善してほしいとの声があるがその状況は。篠崎地域情報課長 所管課で把握している状況としては、15世帯の内、12世帯が全くつながらない状況となっている。残り3世帯については、通信会社1社のみ屋内では無理だが、屋外ではかろうじてつながるような状況である。

質 このような状況か。これまでの不通話エリア解消に向けた取り組みは。地域情報課長 地元住民から要望書が2度提出されている。市では早

質 国の補助事業による「携帯電話等エリア整備事業」を活用して改善を図ってはどうか。地域情報課長 本市においては、市内全域に光ファイバーによる情報基盤整備で検討している。

質 急に改善を求める意見書を付して、通信会社3社に提出した。結果、うち1社が平成22年に簡易版基地局を2基設置したが、今のところ抜本的な改善には至っていない。

質 赤間市長 この補助事業を活用することは有効な手段だと考えているが、情報基盤整備の進捗状況も勘案しながらよく検討していきたい。



宮原 由光 議員

サルビアパークの温水プールについて

問. サルビアパークは、まちづくりのために必要な施設か

答. 財政的なことだけでなく、まちづくりの観点も含めた議論が必要である



宮原議員

質 サルビアパークの温水プール存続を求める署名活動が行われていると聞いたが、坂本生涯学習課長 署名活動のことは聞いていますが、サルビアパークの温水プール廃止は、教育委員会としての機関決定や、協議・検討もしていない。温水プール廃止の話が広がったのは、広報が2月号の「行政評価の結果」を見てと憶測する。

質 旧山田市にサルビアパークが建設された経緯がある。落成式の来賓であったオリンピック選手鈴木大地さんからは、ゴーグルをかけることで泳ぐことができるという大変評価されたプールでもある。外部評価では、年々一般事業利用者の減少が指摘されているが、自主事業の利用者はトータルで1,720人増加している。平成28年度以降は、プール運営を行わないことを検討すべきとしているが、体

質 熊ヶ畑産廃物処理場の運営はどうか、この検証結果には大変疑問が残る。サルビアパークはまちづくりのために必要な施設だと思いが、生涯学習課長 旧山田市当時から、まちづくりの施設としての存在意義は大きく、今後まちづくりの観点なども含めて議論する必要がある。産廃物処理場問題について

質 熊ヶ畑産廃物処理場については、平成25年12月26日で許可期限が切れているが、県は繰り返しの変更認可申請はできないと言いつつ、営業を認めている。市民を代表して、県に対して強く不許可を要望してもらいたい。

赤間市長 許認可権を県が持つていること、法に基づき手続きされていること、あるいは環境の保全やバランスが一度壊れると、元に戻すことは容易ではないという問題も含んでいる。これまでの経緯や詳細を確認し、速やかに一定の方向性を示したい。

サルビアパーク



中村 春夫 議員

市内の産廃行政について

問. 産廃行政に対する市長の考えは

答. 担当課と再度詳細に検討した上で、速やかに方向性を示したい



中村議員

質 嘉麻市、特に山田地区の産廃行政に対する市長の考えは、赤間市長 産廃問題については、権限を有する県が法律に基づき進めていくことが肝要であると考えている。先日、県庁で知事に会った時に、「嘉麻市の産廃問題も早く解決しなくてはいい」という話を聞いた。個々の産廃問題に対する所見については、担当課と再度詳細に検討した上で、速やかに方

質 熊ヶ畑地区の不法投棄産廃について、その後の県との交渉経過は、安陪環境課長 新たな進展はない。百々谷地区の産廃処分場のその後の経過は、環境課長 今までも同じく、県としては超過ごみの撤去はしないという方針である。また、産廃場から隣接地にはみ出している産廃物について、地権者への指導が

あつては、現在協議中であり結論は出ていない。水質検査は継続して行い、例年7月ごろ実施されている。百々谷産廃物中間処分場における保管量の超過について、その後の経過は、環境課長 3月以降、改善の兆候が見られないため、県としては行政指導から行政処分へ切り替える予定である。処分の内容は現在検討中である。

質 熊ヶ畑産廃場の拡張申請及び営業許可申請については、その後の経過は、環境課長 現在も審査中であり、内容は非開示であるため示すことができないという県の回答である。申請の中の残容量1・619m³について、県は確認しているのか。環境課長 県の現地調査は1月末に終了している。

質 平成25年度の搬入量は、環境課長 現在、県が集計中である。



藤 伸一 議員

介護保険事業について

問. 嘉麻市の地域包括ケアシステムの取り組みは。

答. 医療と介護の連携の仕組みづくりを検討していく。



藤議員

地域包括ケアシステムについて
質 地域の実情や、特性に合った仕組みづくりや、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられる、新しいケアシステムの構築が喫緊の課題と考えるが、**池田高齢者介護課長** 今年度が第5期の介護保険事業計画の見直しの年度となっており、嘉麻市に合った医療と介護の仕組みづくりを検討していく。

赤間市長 医療から介護へのスムーズな移行、社会支援・地域力を十分に生かした地域包括ケアシステムを構築する必要がある。
認知症対策について
質 早期・事前的な対応の観点から、軽度認知障がいに対しての頭の健康チェックの検査項目導入の考えは、**池田高齢者介護課長** 認知症に対する早期のケア等にも効果があるので、健康課と協議・

連携を図っていく。
介護ボランティア制度の導入について
質 制度導入に向けての今後の取り組みは、**池田高齢者介護課長** 地域支援事業のあり方や、元気な高齢者が生きがいを持って、自立した生活を続けていくるためにも、導入に向けて前向きに検討していく。
 他に、「教育行政」子ども安心カードの導入・がん教育の強化について



山本 幹雄 議員

平成24年度福岡県内28市普通会計決算状況から

問. 県下最低域の地方税だが、どのような町づくりを考えるか



山本議員

答. 国道322号八丁峠トンネルを見込み、工業団地構想を早急に進めていきたい

質 地方税が県下最低域だが、他と比較して何が異なるのか。
鬼丸税務課長 市民税の課税対象者の割合は37.9%と県下最低の水準だ。課税対象者の1人当たりの平均税額は県下10万6千円に対し嘉麻市7万6千円、固定資産税の税収についても最下位で、その理由は①課税価格の低い山林や農地の割合が多い②宅地の割合が少ない③宅地の評価額の平均価

格が低い④工場等の大規模な建物が少ない。参考までに隣接する田川市の固定資産税は、嘉麻市の約2倍の22億5千万円。その要因は、土地の平均価格が高く、マンションや工場等の大規模な建物が多いこと等だ。
質 嘉麻市の人件費は地方税を約12億円もオーバーし、赤字再建団体1歩手前の様な決算だ。また人件費約35億8千万円と非常に高く、人

口10万都市と肩を並べ、税収はその4分の1なのになぜ高いのか。
田中人事秘書課長 要因は①公立保育所数が他自治体より多い②高齢化率が高い③生活保護世帯数が多い④市営住宅の戸数が非常に多いという状況などにより職員数も多く、当然人件費もその分多くなっている。
質 県内最低域の税収、人口10万都市と肩を並べる高額な人件費、これ

らを踏まえてどの様な町づくりを考えているのか。
赤間市長 嘉麻市の税収増の為には、市民の雇用場の確保する企業を誘致することが大切である。国道322号八丁峠トンネルの供用開始が平成30年度と言われているので、工業団地構想を早急に進めていきたい。また、職員数については担当課が説明した通りであるが、今後行財政改革により対応し



人口比率の高い市営住宅

て行きたい。

田淵 千恵子 議員

市長の施政方針について

問. プロジェクトK・子育て支援・情報基盤整備について

答. 「魅力あるまちづくり」の実現に努力する



田淵議員

質 プロジェクトK導入のきつかけと指導結果は。
坂本スポーツ推進課長 平成22年度に徳島大学大学院の荒木教授に研修会をお願いしたことがきっかけで、平成24年度より公立保育所等に月3回の指導をお願いした。結果、子どもの体力の向上や身のこなし、コミュニケーション能力が身につく、多くの項目で全国平均を上回っている。

質 市長が示す小学校への導入について、学習指導要領との関係はどう考えるのか。
松岡学校教育課長 低学年における「体づくり運動」としての導入が可能である。また、全学年には体育科授業の準備運動として取り入れる。
赤間市長 この取り組みの効果を継続するために小学校への導入が不可欠。学習指導要領の整合は図る。

質 子育て支援ニーズ調査結果、支援会議の進捗状況、待機児童の実態は。
野見山子ども育成課長 ニーズ調査の結果は、就学前児は認可保育所、小学生は学童保育へのニーズが高い。支援会議は10月頃パブリックコメントを実施し、来年3月に市長に答申する。待機児童については、7月の時点で対応済みだ。
質 児童の学力が問題視されているが、就学前

こそ重要な時期と捉えている。是非、充実した政策を。
子ども育成課長 今後は保育士の確保が重要課題。この課題解消に向け様々な取り組みを行っている。
質 情報基盤整備に対する考えは。
市長 官民の望ましい役割分担を考慮し、独居老人の安否確認、行政情報提供等のサービス内容を検討した上で、市内全域への光ファイバー



等による情報基盤整備をし、「魅力あるまちづくり」を実現したい。
※この他、嘉穂総合体育館の管理運営について質問しました。

森 裕治 議員

政治姿勢について

問. 庁舎問題は本当の合理化になるのか

答. 人員、設備を削減すれば合理化になる



森議員

質 まず最初に情報通信基盤整備事業について、現在民間のサービスが提供されていない嘉穂地区、山田地区の提供の予定を把握しているか。
篠崎地域情報課長 NTTの光ファイバーの提供予定時期は、会社側の話によると、山田地区では早ければ平成28年から一部地域で提供予定、そして嘉穂地区においては現在予定はないという話だった。

質 市長は早い時期に情報基盤整備を計画的に推進したいと言われているが、今後のスケジュールは。
赤間市長 施政方針でも示したとおり、こうした情報格差については早期の是正を図りたいと考えている。超高速ブロードバンド整備計画については策定作業に合わせて検証し、必要があれば見直す予定となっている。9月の議会でスケジュール案を示したい。

質 市内交通体系の見直しについて、市外高校通学の利便性向上の策があるのか。
松隈庁舎・交通体系対策室長 市外は地域間交通というものがあり、嘉麻市から桂川町、あるいは飯塚方面は西鉄バス路線がある。今後考えていく部分は対策室で検討する。
質 庁舎問題について、市長は行革の目玉と捉えてあるが、本当の合理化になるのか。

市長 庁舎問題の解決なくして進捗が図れないと思う。早い時期に実施しなければならぬ。人員、設備を削減するという意味合いもあり合理化になる。そして分庁方式を解消した場合、効果額が年間3700万円程度ある。
質 新聞等で人口の急減が予測されているが、一番心配する財政は大丈夫か。
市長 償還に関しては見合うと考える。



嘉麻市バス

※他に行財政改革や、産業振興についても質問しました。

豊 一馬 議員

行財政改革について

問. 行革先進自治体の実態調査を求めたい!

答. 調査を行い、行革推進に反映させる。



豊議員

質 市長は、就任一年目の初日から、登庁時の公用車での送迎をとりやめ、また、公私を区別するため2つの携帯電話を常時携帯するなど、先例にとらわれない思い切った無駄の切りつめを実行されており、ここに行財政改革を推進する市長の強い政治姿勢を感じ取れる。

普通交付税の大幅減額が始まる平成33年度を目標とした自立可能な健全財政を見据えた

「財政計画表」の作成を急がれたい。

赤間市長 普通交付税の合併特例措置が終わって、一本算定となる平成33年度には約15億円の赤字という数値も出てきている。直ちに見直し、9月定例会を目標に財政将来計画として提出したい。

質 第二次行政改革に示された財政効果額の84%は人件費の削減である。

昨年の担当課長の答

弁では、福祉事務所、保育所、総合支所等の本市の地域的事情からすると400人体制の実施は厳しいと言われていたが、市長は今回の一般質問の中で、人件費に係る職員数を一挙に350人に目標設定を切り替える決断を示された。

人口11万人規模の春日市、大野城市、宗像市では、嘉麻市より少ない人員で業務を遂行している。また、全国的にも

少数精鋭で頑張っている自治体も珍しいことではない。

この際、行財政改革を本腰で進めるためにも、全てに先んじて、市長が直接参加され、先進地の実態調査に取り組んでもらいたい。

市長 組織機構、人事配置等も含め、行財政改革推進のため先進地を調査し、その成果が反映できるように頑張りたい。



山倉 敏明 議員

施政方針と教育行政について

問. 消滅可能性都市リストに掲載されていたが

答. 重く受け止め、魅力あるまちづくりに全力を傾注したい



山倉議員

質 産業振興は、非常に重要と考えるが、施政方針の重点施策の中に取り上げられていない。市長の考えは。

赤間市長 嘉麻市ブランド化推進などを含め、今まで以上に産業振興に取り組みたい。

質 2040年には全国の自治体の半分に当たる896市町村で、子どもを産む女性が半減し、将来的には消滅の恐れがあるとして、政策提言機関・日本創成会議

が公表した「消滅可能性都市リスト」が新聞に掲載されていた。現在の政策、財政収支のあり方を見直す必要があるのではないか。

赤間市長 新聞報道であつたように、2040年に消滅する可能性がある自治体に嘉麻市が名を連ねていたことについては重く受け止めている。少子化による人口減少問題は、嘉麻市に限らず全国的な問題であり、若い世代が嘉麻市で

子どもを育てたいと思えるまちづくりのためには、教育レベルの向上や子育て支援の充実を図る施策を積極的に展開していくことが必要と考える。

「生まれ育った若者たちが定住したくなるまちづくり」「移住したくなるまちづくり」を目指し、さらに、環境整備を図りながら、子ども、高齢者、障がい者を持つ方々などすべての人にやさしいまちづくりとし

て尽力することが、人口流出の抑制につながると考えている。

こうした施策を展開していくためには、今後、行政の無駄を省くことによつてスリム化を図り、あわせて市民、地域、社会と行政が一体となつて、10年後、20年後を見据えた魅力あるまちづくりに全力を傾注したい。

※この他に、教育行政、通学路の整備等について質問しました。

